

「令和7年度実施計画事業に係る事務事業評価」への意見等に対する市の考え

NO.	事業名	1次評価	担当課	意見等の内容	意見等に対する市の考え
1	—	—	企画政策課	特定の事業に対する意見ではなく、事務事業評価全体に対する意見として記述しました。 評価指標を「実施件数」から「成果」へ 各事務事業評価表では、広報回数や利用者数など活動指標が多く用いられていますが、市民が知りたいのは「その事業によってどのような効果が得られたのか」だと思います。 例えば疾病予防事業では、人間ドック助成利用者数は目標を上回っていますが、その結果として健康診断受診率の向上や重症化予防、医療費適正化などにつながったのかが分かりません。 今後は、活動指標だけでなく、 ・事業実施による成果 ・費用対効果 ・市民満足度 ・将来的な行政コスト削減効果 などを示す成果指標を充実させることで、市民にとって分かりやすい行政評価となるよう改善を望みます。 「継続」と判断した理由をより具体的に 多くの事業で一次評価が「B(継続)」となっていますが、評価理由は比較的簡潔であり、改善点や課題が十分読み取れませんでした。 「継続」であっても、 ・現状の課題 ・改善する内容 ・翌年度に重点的に取り組む事項 まで記載されれば、市民は行政評価をより理解しやすくなると思います。 利用率が低い事業については原因分析を公表 制度を実施していても、市民に十分利用されていない事業がある場合には、 ・制度を知られていないのか ・対象条件が厳しいのか ・手続が複雑なのか など原因を分析し、その結果を評価表にも反映していただきたいと思います。 単に利用実績だけではなく、「利用されなかった理由」を評価することが、事業改善につながると考えます。 デジタル化による行政サービス向上を評価項目へ 行政サービスではオンライン申請や電子化が進んでいますが、評価表ではその効果が十分見えません。 事務負担軽減、市民の利便性向上、窓口待ち時間短縮などについても評価項目として整理することで、行政改革の成果が市民にも伝わりやすくなると思います。 評価結果をより分かりやすく公表 現在の評価表は情報量が多く、一般市民には読み取りが難しい部分があります。 評価結果を公表する際には、 ・事業の目的 ・実施内容 ・成果 ・課題 ・今後の方向性 をA4用紙1枚程度に要約した「市民向け概要版」を併せて公表すると、市民の理解と行政への関心が高まると考えます。 まとめ 行政評価は、単に事業を継続するかどうかを判断するだけではなく、限られた財源を有効活用するための重要な仕組みと考えられます。 今後は成果をより分かりやすく見える化し、課題と改善内容を具体的に示す行政評価へ発展させることで、市民との情報共有や行政への信頼向上につながることを期待したいと思います。	事務事業評価の視点や手法に関する具体的なかつ多角的なご意見をありがとうございます。 本市では、「大網白里市第6次総合計画 後期基本計画（計画期間：令和8～12年度）」の策定に伴い、より効果的・効率的な事務事業評価を実施するため、令和8年度に実施する事業から、評価対象基準や事務事業評価表の一部を見直したところでございます。 今回のご意見・ご提案（成果指標の設定や、事務事業評価表の簡素化・見易さの向上等）につきましては、市民の皆様にとって分かりやすく、実効性の高い評価制度となるよう、今後の制度改善や運用の見直しを検討する上での参考とさせていただきます。